

愛知県医療審議会医療計画部会

平成19年5月23日

今回の議題は、2題です。

1. 地域保健医療計画見直しの進捗状況について
2. 医療実態調査について

1. 地域保健医療計画見直しの進捗状況について

がん・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病をそれぞれ2例、合計8例が示されています。

その中では2例のみ「歯科」の文言が入っています。この参考例に対しあえて加筆することにより、よりきめ細やかな計画になると思います。

例1) 尾張西部医療圏での脳卒中におけるイメージ図
 ここには在宅等で歯科診療所が入っています。地区歯科医師会での受け入れを考えています。しかしながら、急性期からの口腔ケアをはじめ回復期での口腔ケアが無く、これらは必要かと思います。このためには、地域連携クリティカルパスの中に口腔ケアを標準化することが求められ、情報を共有する必要があります。

例2) 尾張北部医療圏での糖尿病におけるイメージ図
 普及啓発をはじめとする「糖尿病予備軍の取り組み」で関係機関の中に歯科医師会が入っています。しかしながら、保健指導、保健指導・医療、医療の中には歯科の項目がありません。(糖尿病の合併症の第6番目としての) 歯周病を保健指導の中で教育する必要があり、医療面では歯周病治療が糖尿病の改善に影響するという報告が伝えられています。また、愛知県の歯周病対策実態調査では、糖尿病入院患者における歯周病について県下239病院に対しアンケートが実施されました。これによると、30病院のみで「歯周病教育が実施」されていましたが、それ以外では未整備の部分が大きくさらなる充実が求められます。

2. 医療実態調査について

上記2例から医療実態調査を考えていくと、

「脳卒中」については、病院内での口腔ケアの有無？ 地域連携クリティカルパスへの口腔ケアの標準化？ に関する項目の追加。

「糖尿病」については、病院内での糖尿病患者に対する「歯周病の教育」と「歯周病の改善」が励行されたかどうか？ に関する項目の追加。

※入院在院日数の減少、術後の合併症の減少と患者さんの自立支援に関し口腔ケアが重要性であるというエビデンスが明確にされています。

※ここに言う「口腔ケア」は単に口腔内の清掃と言うだけでは無く、口腔機能の維持・回復を含むこととします。